



# 笑顔いっぱい

長子配布

令和4年度3月号

武雄市立武雄小学校 情報新聞

## 校長だより

文責 竹内智道

### 【学校教育目標】

学ぶことは楽しいことだと実感し、  
次の学びに意欲的に取り組む児童の育成

### 【児童の合い言葉】

ふわふわことばと思いやり みんな にこにこ たけおっ子

### 3月 弥生

日本語で一番美しい言葉としてよく取り上げられるのが「ありがとう」という言葉です。ありがとうと言われると気持ちがほっとなごみます。顔の表情が穏やかになり、自然と笑顔にもなります。

この時期の学校は、年度のまとめ、次の学年への準備とあわただしい毎日ですが、子ども達は、様々な意味でこの「ありがとう」が自然に出てくる時期です。上級生に、友達に、先生に、教室に、学校にと様々な形でありがとうの気持ちや言葉が出てきます。

2月25日に行われた「はばたけ集会」は、6年生へ「これまで武雄小を引っ張ってくれてありがとう」というお礼と「これから中学校でも活躍してください」という応援の意味を込めた一つの形です。各学年工夫を凝らして、思いを伝えることができました。一生懸命に練習した結果が出てよかったと思います。受ける側の6年生も心に何か残るもの、これまで自分たちがしてきたことの意味を感じることが出来たのではないのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の影響もあり、6年生以外の保護者の皆様には、校内の図書室や教室からリモートでの参観をしていただくという形になりましたが、ご理解とご協力ありがとうございました。

これからひと月、子どもたちに「ありがとう」を感じる機会を多くもたせ、また、そういう意味付けながら話をしていきます。どうぞご家庭でもこの時期だからこそ感じる事ができる「ありがとう」ということを話していただければと思います。心も温かくなり、年度末のあわただしい中に、ほっと落ち着く時間となるのではないのでしょうか。よろしくお祈りします。



【5年生 6年生のはばたけ集会の様子】

## SAGA2024

来年は、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が佐賀県で開催されます。武雄市でも、いくつかの競技が行われます。1月27日、佐賀県と武雄市から事務局や指導者の方がみえられ、5年生がこの大会の啓発事業としてボッチャを体験しました。ボッチャは障害者スポーツの正式競技になります。手が使えない場合は、頭に器具をつけて競技をすることなどの説明を受け、実際に体験をしていました。また、全員がボッチャの競技をし、歓声が上がっていました。SAGA2024の理解と障害者スポーツを知る良い時間となりました。

## 地域に見守られながら

地域の方の協力を得て、2月16日には、3年生が七輪で炭火おこし体験、21日には、ボランティア委員会が卒業式に飾る花をプランターに植えました。また、年間を通して、朝の時間の読み聞かせ、通学時の交通指導等々地域の皆様には、今年度も大変お世話になりました。子どもたちが武雄の町の人々の温かさを感じることが出来ました。ただただ感謝するばかりです。有難うございました。



【地域の方と一緒に花植え】